採石業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	11˜12	工場内250mレベルで、ベンチ幅4mの通路上を他のパワーショベルのキャタピラー取付作業の応援のため、パワーショベルにて移動中、ズレ石により2m程度盛り上がった部分を乗り越えて下る途中で、パワーショベルがバランスを崩し、進行方向左の崖側に転倒し、崖の途中でとまった。 その際に腰椎圧迫骨折および打撲、打ち身を負った。	55	10～29
4	14～15	道路の道路表面に敷き込んでいた原石ズリ（敷き込み厚さ4m）を回収する業務中、法肩に履帯が平行になるように停車し、ダンプトラック（CAT777）への積み込み作業を開始し、2台目のダンプトラック（CAT777）に積み込みを行うため旋回をしている途中で、バックホーが停止していた法肩が崩れ、約9m下のベンチに転落・横転した。	44	30～49
4	17～18	現場休憩所横に4tユニックを停車させ、荷台上で積んでいた道具類を下ろして作業を終え、荷台から降りようとした際にバランスを崩し、うつ伏せ状態で地面へ落ちた。	62	10～29
5	9～10	原石投入ホッパー内でクラッシャー内部に詰まった原石を取り除く作業中に、ホッパー内から出ようとした時に手摺りがあったが掴めず、体のバランスを崩し、ホッパー横から約3m下のコンクリートの床面に背中から墜落した。	57	1～9
6	13～14	砕石工場で、積み込み用重機（ホイールローダー）から降車する際、着地時に足を挫き骨折した。	63	50～99
	12～	重機に給油をしようとしている際、右手で手すりを掴み、左手で給油のホースを受		10

6	13	け取ろうとした時、雨のため掴んだ右手が滑り、重機のステップ（高さ1m）から転落した。	52	～ 29
6	15～ 16	砕石採取場において、被災者の運転するダンプトラックが、採取場から原石を積載して運搬経路に従って砕石プラントへ運行する途中、運搬経路右側の転落防止の土堤を乗り越えて前進したため窪みに脱輪し、さらに前進してバリケードとロープを乗り越え、バランスを崩してそのまま右側に傾きながら、15m下の小段道に転落し、運転席（左ハンドル）を上にし、最終的には真横の状態で止まった。	57	10 ～ 29
6	12～ 13	採石場で昼の休憩時、パワーショベル（CAT3458）の操縦室に置いていた弁当を取りに行き、車体のキャタピラ（高さ110㎝）に上がり操縦室に入ろうとしたところ、誤って背中から転落した。 意識はあったが歩行困難な状態だったので、対岸まで運び救急車で病院に搬送した。	69	1 ～ 9
7	16～ 17	土砂運搬終了後、翌日は砕石（中詰石）の運搬予定だったので、荷台に付いた土砂を取り除こうとダンプの荷台に登ろうとし、ダンプのサイドバンパー1段目に左足を掛けた時にバランスを崩して、転落し負傷した。	34	1 ～ 9
9	16～ 17	当社にて、ダンプのベッセルを溶接するため脚立とハシゴを使用して高さ約2mの場所で作業中、突然ベッセルが倒れ、作業中の社員が脚立から転落する。 右足首を骨折、全治2ヶ月と診断される。	35	1 ～ 9
10	16～ 17	一次プラントの運転を停止して、一次クラッシャーの鬼歯付近の清掃をしていたところ、プレートフィーダーにひっかかっていた石がころげ落ち足にあたり、クラッシャーの中に頭から転落した。	54	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html